

北里大学病院

田島 也考 (たしま なりたか) 株式会社エージーピー 営業開発本部 フードシステムソリューション事業部 主任

要約 ニュークックチルシステムが注目を集める背景には、医療制度改革下での診療報酬改定や入院時食事療養費改定による栄養部門収支の悪化がある。また、ノロウイルスや病原性大腸菌 O157 など、多様化する食中毒リスクに対する万全な衛生管理の実践、震災などの災害発生時に備えた食事提供体制の確立なども新調理システム普及拡大の要因になり、病院給食を取り巻く環境は、よりシビアな状況になるものと予測される。こうした事態を打開する有効な手段の一つとして、さまざまな課題への高いソリューションポテンシャルをもつニュークックチルへの関心と期待が高まりつつあると考えられるため、今回は「大規模病院」を参考にシステム導入事例を取り上げる。

1. はじめに

昭和46年7月に「患者中心の医療」を掲げて開院した北里大学病院は許可病床数1,033床を有する総合的病院であり、平成5年12月に特定機能病院として承認された。

平成26年5月に開院した新病院では、地域における救命救急センター、災害拠点病院、総合周産期母子

医療センター、地域がん診療連携拠点病院としての機能をこれまで以上に発揮する為、救命救急・災害医療センター、周産母子成育医療センター、集学的がん診療センターを設置し、地域の三次医療を担う超急性期病院としての体制を整えた。

新病院の開院に合わせ、HACCP方式の採用により食事の安全性を確保するとともに、最新設備機器導入による効率のよい調理作業が可能であり、また働きやすい作業環境の実現を目標とした。

栄養部ではこれらの新設備機器を使用し、安全でおいしい食事、患者さんの治療目的にあった適切な食事作りを目指し、様々な工夫を取入れた食事の提供を行っている。

今回は地域のフラッグシップを担う総合病院の厨房事例を紹介する。

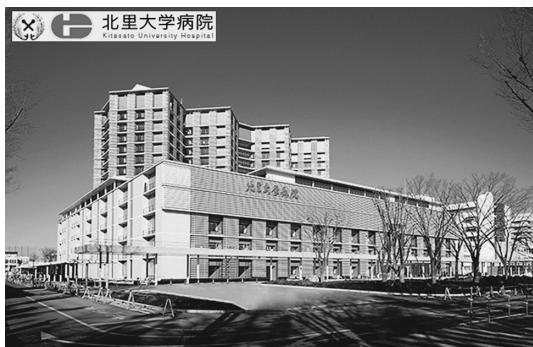


写真1 新病院全景



写真2 施設全景

2. 施設概要

北里研究所創立100周年、北里大学創立50周年の記念事業の一つとして北里大学病院の新築移転と北里大学東病院の全面改修、両病院の機能分担の全面見直し等で構成されており、平成26年5月に新病院が開院。

名称	北里大学病院
所在地	神奈川県相模原市南区北里1-15-1
病床数	1033床
許可病床数	1033床
稼働病床数	985床
新病院棟延床面積	92,776㎡
既存棟(現新棟)延床面積	22613㎡
構造	地下1階、地上14階、屋上ヘリポート
診療数/病棟数	30科/24病棟